

小出三郎

2021年7月13日(火)～8月15日(日)

No.	作品名	作者	制作年代 出品歴	所蔵
1	夕暮の村	小出三郎 (1908-67)	1943年(昭和18) 第13回独立展	本館(小出君子氏寄贈)
2	水辺	小出三郎 (1908-67)	1943年(昭和18) 第13回独立展	本館(小出君子氏寄贈)
3	鱧とたらひ	小出三郎 (1908-67)	1940年(昭和15) 第10回独立展	本館(小出君子氏寄贈)
4	横むき	小出三郎 (1908-67)	1953年(昭和28) 第21回独立展	個人蔵
5	腰かけ	小出三郎 (1908-67)	1953年(昭和28) 第21回独立展	個人蔵
6	木の根	小出三郎 (1908-67)	1958年(昭和33) 10周年記念関西独立展	本館(小出君子氏寄贈)
7	人・B	小出三郎 (1908-67)	1962年(昭和37) 第30回独立展	本館(小出君子氏寄贈)
8	裸(A)	小出三郎 (1908-67)	1960年(昭和35) 第28回独立展	本館(小出君子氏寄贈)
9	京都東山	小出三郎 (1908-67)	1959年(昭和34) 第27回独立展	本館(小出君子氏寄贈)
10	ランプと杏	小出三郎 (1908-67)	1957年(昭和32)	本館(小出君子氏寄贈)
11	中之島	小出三郎 (1908-67)	不詳(昭和前期)	本館(小出君子氏寄贈)
12	素描(裸婦/大原)	小出三郎 (1908-67)	裸婦:1953年(昭和28) 大原:1963年(昭和38)	個人蔵
13	関係資料 (独立展出品作品絵はがき/「サンデー毎日」)			本館(小出君子氏寄贈)

小出三郎 略年譜

1908年(明治41)	大阪市に生まれる
1926年(大正15)	天王寺中学校を卒業し、大阪美術学校に入学する ほどなく信濃橋洋画研究所に移り、小出楷重らの指導を受ける
1932年(昭和7)	第2回独立展に《裸婦》、《曇り日》が初入選する 第6回全関西洋画展に《裸婦》、《コスチウム》が入選する
1938年(昭和13)	全関西美術協会会員に推薦される 池島勘治郎らと大阪新洋画協会を結成する
1940年(昭和15)	第10回独立展に《漁村》、《鱧とたらひ》が入選、独立賞を受賞する
1941年(昭和16)	結婚、豊中市の新居に移る
1945年(昭和20)	空襲を避け、長野県白馬村わらび平に疎開する
1947年(昭和22)	独立美術協会会員に推薦される 前田藤四郎らと汎美術家協会を創立する
1954年(昭和29)	豊中市美術協会が創設され、会員となる
1958年(昭和33)	関西洋画壇傑作展(毎日新聞社主催)に《漁港》を出品する
1967年(昭和42)	自宅で死去(享年60) 第35回独立展に遺作《鱧とたらひ》、《人・A》が陳列される
1968年(昭和43)	第5回関西独立展に遺作40点が陳列される
2017年(平成29)	小出三郎、没50年 東御市梅野記念絵画館にて、「独立美術協会 東の雄 吉岡憲 VS 西の雄 小出三郎」が開催される
2020年(令和2)	大阪市立美術館、大阪中之島美術館に、小出三郎遺族より遺作、関係資料が寄贈される